

The Vulture, ベケットがゲーテをパロディ

一七七七年二月二八歳のゲーテはハールツを訪れる
早朝の空に腐肉を求める vulture (ハゲワシ、高橋康也が訳しているように
秃鷹 (ハゲタカ) ではない。ハゲタカは死んだ肉ではなく、
生きた獲物を狙う) が舞っている。

ゲーテはそれを詩にたとえて

寿ぐ一五四年後、

ベケットは、それを嗤う。当然尊敬しながら

九三年後、

日本のあるところで詩人であると思ひ込んでいる

老人たちが、紋切り型の詩を書き、

ズレまくった考えを披露しあう座談会。

ああ、腐肉にさえなっていないということとは、

こういうこと。

つまり、死んでいない。ぎらぎらに生きながらえて

死に値しないと、

死から見放されている。

